

◆ 利用者調査の集計結果一覧

調査対象者数：21名 (注) 太字は一番件数の多い評価
 回答者数：11名 回収率：52.4%

保護者等向け 児童発達支援事業評価表 23問		はい		どちらとも いえない		いいえ		わからない		無記入	
		人数	合計比	人数	合計比	人数	合計比	人数	合計比	人数	合計比
問1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか	8	73%	1	9%	2	18%				
問2	職員の配置数や専門性は適切であると思いますか	9	82%	2	18%						
問3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっていると思いますか(注1)。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか	8	73%	3	27%						
問4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか	9	82%	1	9%	1	9%				
問5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、お客様のケアプラン(児童発達支援計画)(注2)が作成されていると思いますか	9	82%	1	9%			1	9%		
問6	ケアプランには、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容(別紙A)から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか	9	82%			1	9%	1	9%		
問7	ケアプランに沿った支援が行われていると思いますか	10	91%	1	9%						
問8	活動プログラム(注3)が固定化しないよう工夫されていると思いますか	9	82%	1	9%			1	9%		
問9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があると思いますか			1	9%	9	82%	1	9%		
問10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたと思いますか	9	82%	2	18%						
問11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成されたケアプランを示しながら、支援内容の説明がなされたと思いますか	8	73%	3	27%						
問12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(注4)等)が行われていると思いますか	3	27%	6	55%	1	9%	1	9%		
問13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	10	91%	1	9%						
問14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	10	91%	1	9%						
問15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていると思いますか	8	73%	1	9%	1	9%			1	9%
問16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	8	73%	2	18%					1	9%
問17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	9	82%	1	9%					1	9%
問18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていると思いますか	9	82%	1	9%					1	9%

◆ 利用者調査の集計結果一覧

調査対象者数：21名 (注) 太字は一番件数の多い評価
 回答者数：11名 回収率：52.4%

保護者等向け 児童発達支援事業評価表 23問		はい		どちらとも いえない		いいえ		わからない		無記入	
		人数	合計比	人数	合計比	人数	合計比	人数	合計比	人数	合計比
問19	個人情報の取扱いに十分注意されていると思いますか	10	91%							1	9%
問20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか	1	9%	4	36%	1	9%	4	36%	1	9%
問21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	1	9%	3	27%	2	18%	4	37%	1	9%
問22	子どもは通所を楽しみにしていると思いますか	8	73%	1	9%			1	9%	1	9%
問23	事業所の支援に満足していますか	9	82%	1	9%					1	9%

(注1) 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置等、子ども本人にわかりやすく配慮されているかを指します。

(注2) 「児童発達支援計画」とは、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載している書面を指します。この「児童発達支援計画」は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

(注3) 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

(注4) 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。